

令和 8 年度

全国学力・学習状況調査の結果分析と考察

草加市教育委員会

令和 8 年 1 0 月

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 調査概要

- (1) 実施日 令和 8 年 4 月 23 日（木）
- (2) 調査対象 小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年
- (3) 対象人数 小学校 21 校 1,758 人
中学校 11 校 1,633 人

2 調査内容

- (1) 教科に関する調査
 - ・小学校 6 年生：国語・算数
 - ・中学校 3 年生：国語・数学・英語
 - (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- ※ 児童・生徒質問調査・中学校英語について、各校が指定された日にオンラインで実施

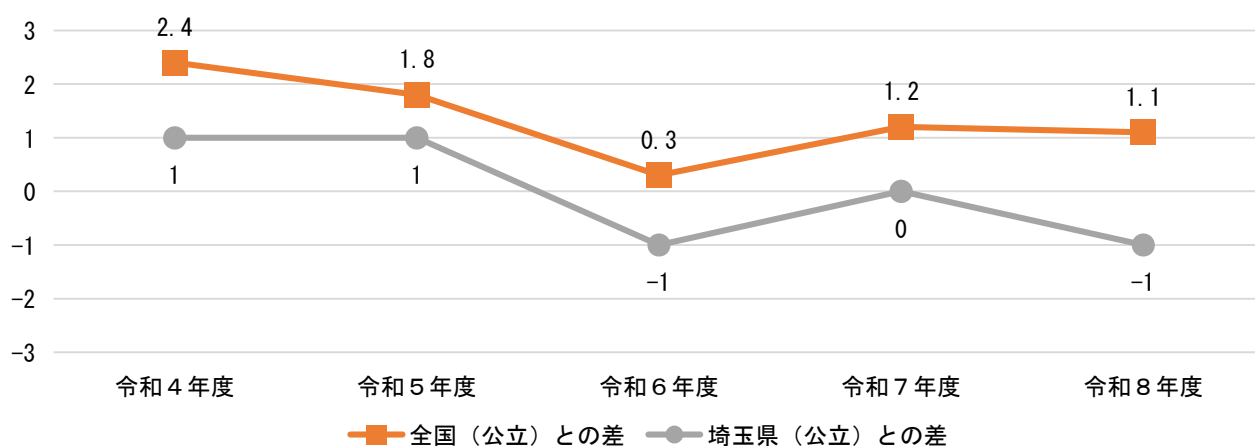
調査結果

1 小学校国語

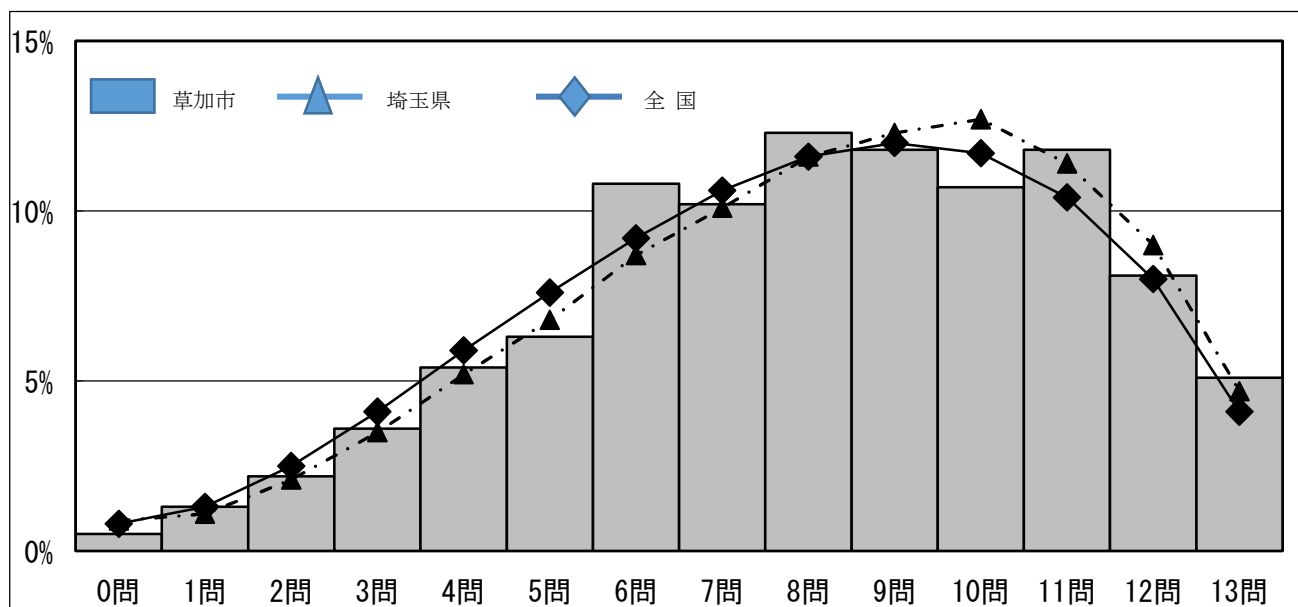
(1) 平均正答率の経年変化

国語	平均正答率(%)				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
全国(公立)	65.6	67.2	67.7	66.8	60.9
埼玉県(公立)	67	68	69	68	63
草加市	68	69	68	68	62
全国(公立)との差	2.4	1.8	0.3	1.2	1.1
埼玉県(公立)との差	1	1	-1	0	-1

【小学校国語】平均正答率との差



(2) 正答数の分布

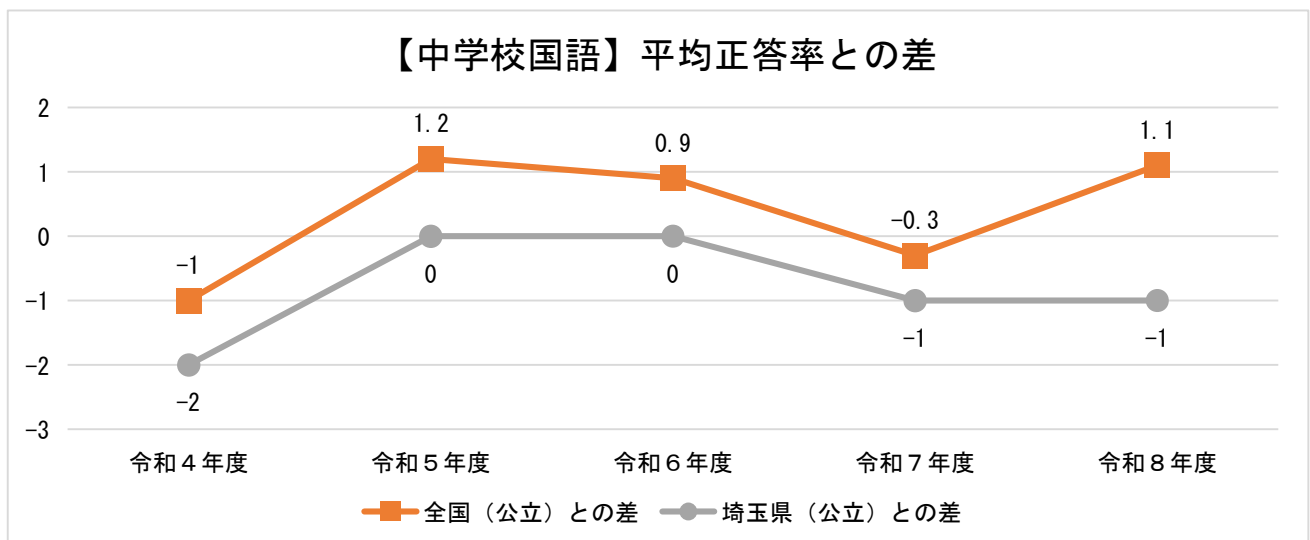


正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)

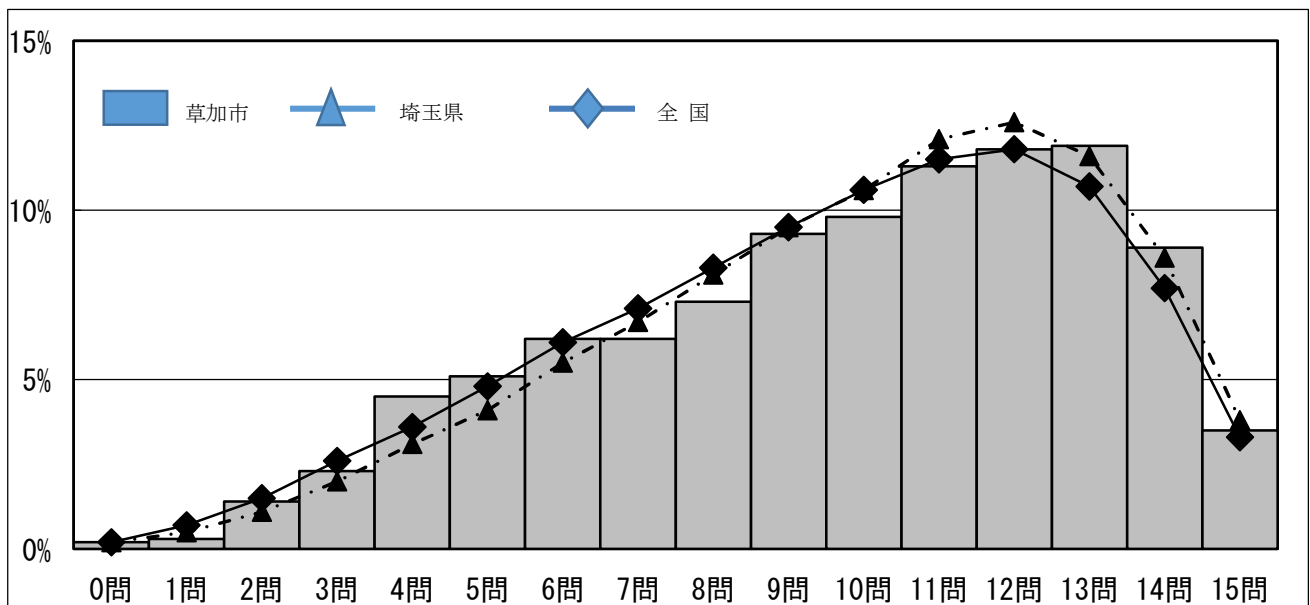
2 中学校国語

(1) 平均正答率の経年変化

国語	平均正答率(%)				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
全国(公立)	69.0	69.8	58.1	54.3	63.9
埼玉県(公立)	70	71	59	55	66
草加市	68	71	59	54	65
全国(公立)との差	-1.0	1.2	0.9	-0.3	1.1
埼玉県(公立)との差	-2	0	0	-1	-1



(2) 正答数の分布からみる傾向



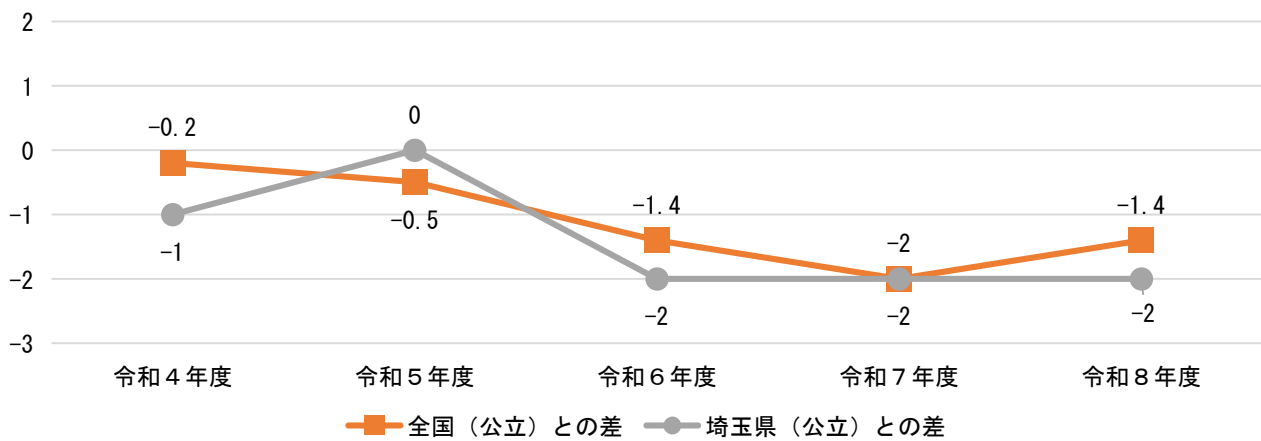
正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：割合)

3 小学校算数

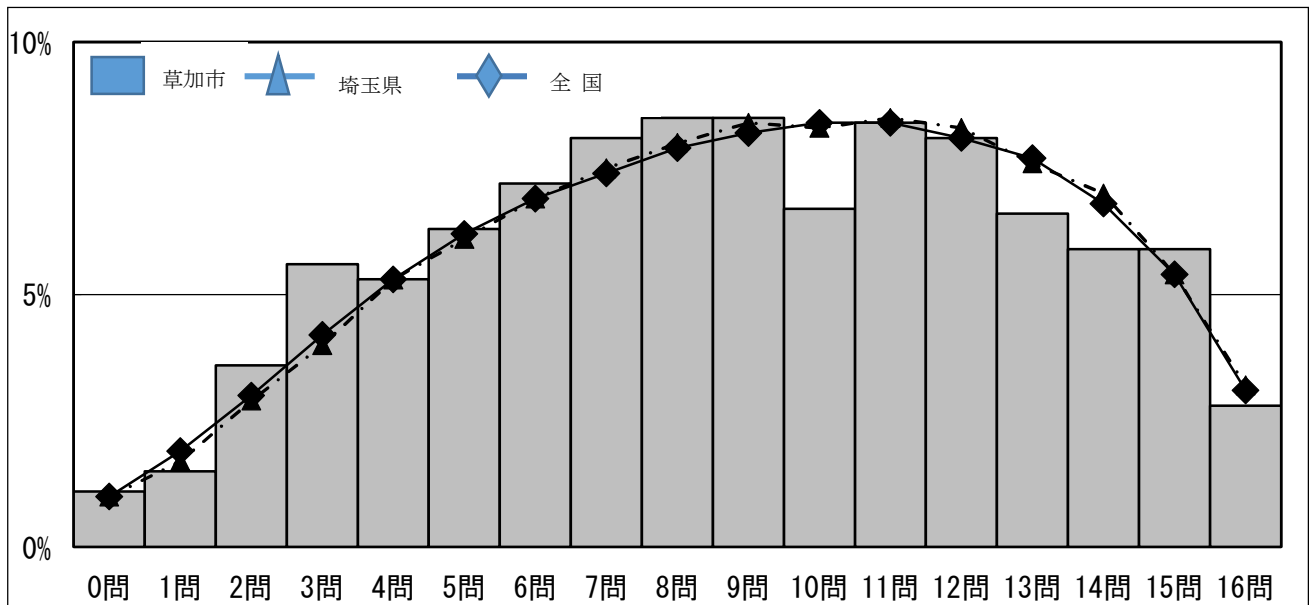
(1) 平均正答率の経年変化

算数	平均正答率(%)				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
全国(公立)	63.2	62.5	63.4	58.0	56.4
埼玉県(公立)	64	62	64	58	57
草加市	63	62	62	56	55
全国(公立)との差	-0.2	-0.5	-1.4	-2.0	-1.4
埼玉県(公立)との差	-1	0	-2	-2	-2

【小学校算数】平均正答率との差



(2) 正答数の分布からみる傾向

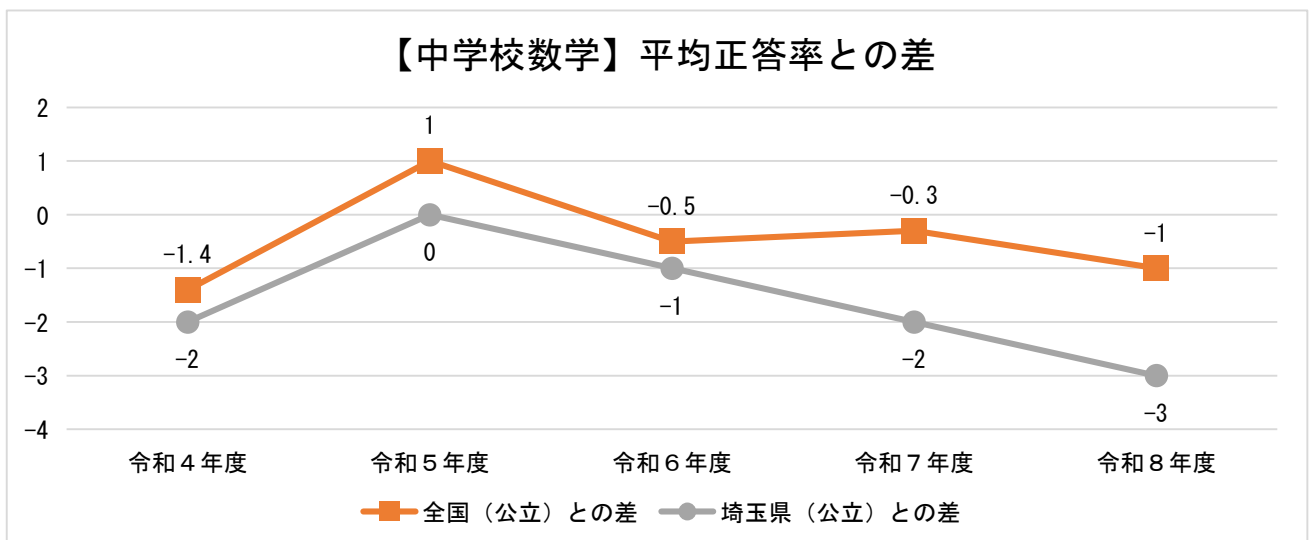


正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)

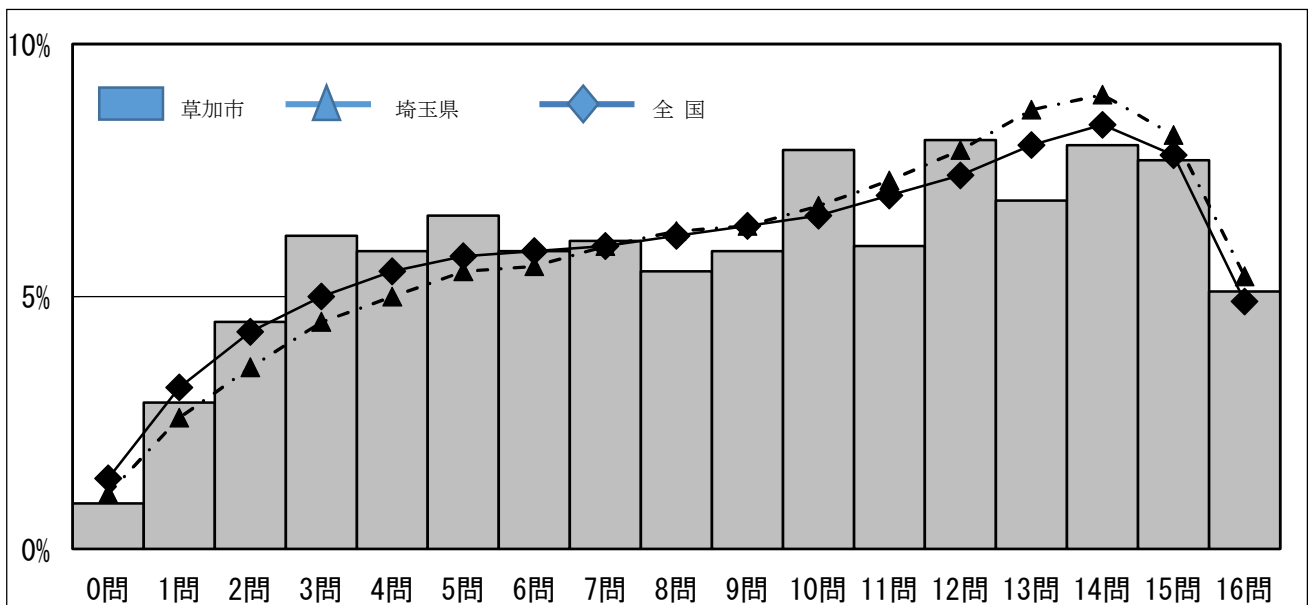
4 中学校数学

(1) 平均正答率の経年変化

数学	平均正答率(%)				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
全国(公立)	51.4	51.0	52.5	48.3	57.0
埼玉県(公立)	52	52	53	50	59
草加市	50	52	52	48	56
全国(公立)との差	-1.4	1.0	-0.5	-0.3	-1.0
埼玉県(公立)との差	-2	0	-1	-2	-3



(2) 正答数の分布からみる傾向



正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：割合)

5 中学校英語

(1) 平均IRTスコアの結果

英語	令和8年度
	平均IRTスコア
全国(公立)	499.0
埼玉県(公立)	506
草加市	493
全国(公立)との差	-6.0
埼玉県(公立)との差	-13

IRT (Item Response Theory : 項目反応理論)

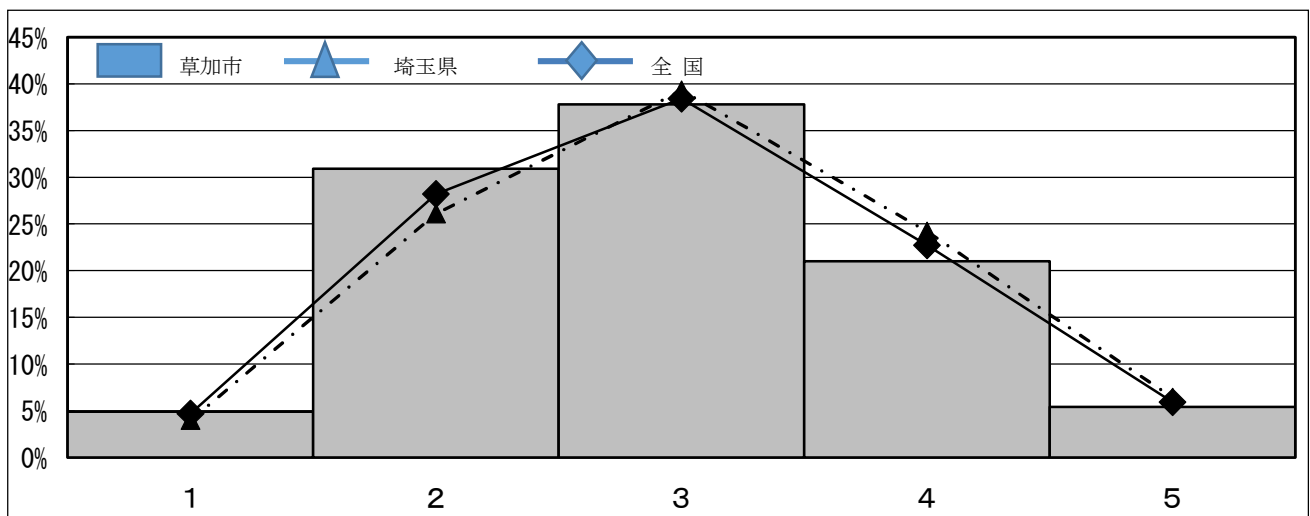
児童生徒の正答・誤答が、問題の特性(難易度、測定精度)によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。

異なる問題から構成される試験・調査の結果を同じものさし(尺度)で比較できる。

①調査日の複数設定が可能

②より多くの問題を使用し、幅広い領域・内容での調査が可能

③学力の経年変化の把握が可能



IRTバンド分布グラフ (横軸: IRTバンド, 縦軸: 割合)

成果と今後の指導の重点（小学校）

教科	・全体の傾向 ○成果が見られた項目 ◆今後の指導の重点
国語	・ 県の平均正答率を下回っているが、全国の平均正答率は上回っている。 ・ 無解答率は、全国及び県の無解答率より全ての設問で低くなっている。 ○【言葉の特徴や使い方に関する事項】「知識・技能」選択式 話や文章の種類とその特徴について理解することができるかどうかをみること。 ○【読むこと】「思考・判断・表現」記述式 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみること。 ◆【書くこと】「思考・判断・表現」選択式 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみること。
算数	・ 全国及び県の平均正答率を下回っている。特に、平均正答率が高い学校と低い学校との差が依然として見られる。 ○【データの活用】「知識・技能」選択式 帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみること。 ◆【図形】「知識・技能」短答式 ・ 立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみること。 ・ 体積の意味について理解しているかどうかをみること。 ◆【数と計算】「思考・判断・表現」記述式 異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみること。

成果と今後の指導の重点（中学校）

教科	・全体の傾向 ○成果が見られた項目 ◆今後の指導の重点
国語	・県の平均正答率を下回っているが、全国の平均正答率は上回っている。 ○【話すこと・聞くこと】「思考・判断・表現」記述式 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみること。 ○【読むこと】「思考・判断・表現」記述式 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみること。 ◆【読むこと】「思考・判断・表現」選択式 文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができるかどうかをみること。 ◆【言葉の特徴や使い方に関する事項】「知識・技能」短答式 語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみること。
数学	・全国及び県の平均正答率を下回っている。 ・「思考・判断・表現」に関する設問の記述式で解答する問題において、無回答率が高い傾向がある。 ○【図形】「知識・技能」短答式 2直線が平行になるための条件を理解しているかどうかをみること。 ◆【数と式】「思考・判断・表現」記述式 統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみること。 ◆【関数】「思考・判断・表現」記述式 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみること。
英語	・平均 I R T スコアは、全国及び県の平均を下回っている。 ○【書くこと】記述式 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができること。 ○【聞くこと】選択式 ・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができること。 ・日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができること。 ◆【読むこと】選択式 社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができること。 ◆【書くこと】短答式 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できること

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について【児童生徒質問調査】
 【「草加っ子の基礎・基本」に関連する質問事項】

	質問事項	校種	全国		埼玉県		草加市		R7との比較
			R7	R8	R7	R8	R7	R8	
自分のよさを大切にします 友達を認め大切にします	1 自分には、よいところがあると思う	小学校	86.9	85.6	88.5	87.2	87.0	84.0	
		中学校	86.2	84.0	88.0	86.9	86.9	85.6	
	2 友達関係に満足している	小学校	91.7	91.1	92.7	92.0	91.7	91.3	
		中学校	91.4	91.2	91.8	91.8	90.6	91.3	↑
	3 普段の生活の中で、幸せな気持ちで過ごしている	小学校	93.0	92.5	93.2	92.8	91.7	91.9	↑
		中学校	91.6	91.0	91.8	91.4	91.2	90.6	
「知」の基礎・基本	4 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりする	小学校	84.9	85.7	87.9	87.8	85.6	86.3	↑
		中学校	84.7	87.0	88.0	89.9	86.0	89.1	↑
	5 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	小学校	68.6	66.4	75.7	71.8	73.6	69.5	
		中学校	63.0	65.5	71.2	72.6	71.3	72.5	↑
	6 課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ	小学校	80.3	77.6	84.7	81.3	81.5	79.3	
		中学校	77.7	78.8	83.0	83.9	81.4	80.0	
	7 学校の授業時間以外に勉強をしている時間（平日1日当たり30分以上）	小学校	81.4	79.0	83.8	81.7	81.9	78.5	
		中学校	80.7	81.1	82.6	83.9	81.0	81.7	↑
「徳」の基礎・基本	8 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	小学校	97.2	96.2	97.4	96.7	97.0	95.5	
		中学校	95.9	95.1	96.4	95.5	96.1	94.2	
	9 人が困っているときは、進んで助けている	小学校	93.7	92.7	95.1	93.9	94.8	92.4	
		中学校	90.9	90.8	92.8	92.9	92.2	92.7	↑
「体」の基礎・基本	10 朝食を毎日食べている	小学校	93.7	93.3	94.3	93.8	93.4	91.8	
		中学校	91.2	90.9	91.7	91.4	90.8	89.7	
	11 毎日、同じくらいの時刻に寝ている	小学校	81.9	82.8	83.9	84.3	83.5	82.2	
		中学校	81.0	80.5	81.7	81.5	79.4	79.1	
	12 毎日、同じくらいの時刻に起きている	小学校	91.0	90.7	91.9	91.5	91.2	89.3	
		中学校	92.6	92.4	92.8	92.7	93.3	92.1	
	13 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	小学校	80.8	77.3	84.8	80.9	85.4	80.5	
		中学校	77.3	77.8	83.6	83.2	82.6	79.7	

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合(質問7は除く)〔%〕

 : 全国平均を上回るもの
 斜め : 県平均を上回るもの
 ↑ : 前回調査比増

質問調査からの分析

草加っ子の基礎・基本に関する質問調査

自分のよさを大切にします 友達を認め大切にします	○ 「友達関係に満足している」について、小中学校ともに全国と比較して上回っている。特に、中学校は令和7年度の数値と比較すると0.7ポイント向上している。 ○ 「自分には、よいところがあると思う」について、中学校が全国と比較して1.6ポイントと大きく上回っている。
「知」の基礎・基本	○ 「知」の基礎・基本と関連性のある質問事項について、<u>8項目中7項目で全国平均を上回っている。</u> ○ 「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」について、中学校が全国平均を上回り、令和7年度の草加市と比較しても1.2ポイントの向上が見られた。
「徳」の基礎・基本	○ 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、小中学校ともに90%を超えている。 ○ 「人が困っているときは、進んで助けている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、小中学校ともに90%を超えている。特に、中学校では、全国との比較において1.9ポイント上回っている。
「体」の基礎・基本	○ 「体」の基礎・基本と関連性のある質問事項について、8項目中全ての項目において令和7年度の草加市と比較して減少が見られました。 ○ 「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」については、小学校が令和7年度の草加市と比較して4.9ポイントの減少が見られました。
教員に関わる項目	○ 「先生は、よいところを認めてくれている」について、昨年度から継続して小中学校ともに90%を超えている。特に、中学校については、全国との比較において1.7ポイント上回っている。